2022年（令和4年）
第35号
（8月1日）

平安だより

HEIAN letter

発　行　所：立正佼成会　京都教会
発行責任者：渉外部長　田中規之
編集委員長：渉外広報　植田恭司
〒605-0041　京都市東山区三条東町 230
TEL (075)762-2211　FAX (075)762-2266

今月のことば　～ほんとうの自分を生きる - 精進②～　乙訓支部主任　澤田華世

今月は乙訓支部の澤田が担当させて頂きます。よろしくお願いします。

私の母は 現在 87 歳で施設に入所しています。先頃「誤嚥性肺炎」で入院しました。おばあちゃんが大好きな娘と二人で行くことにしたことを長男である弟に伝えると「コロナ渦でもあり、会える人も限定されているので考え直してほしい」と返事がありました。遠く離れた実家のため、すぐ帰ることも出来ず、もどかしい思いでいました。ご法話を拝読した私のキーワードは「感謝とおかげさま」だと感じ、「一人ひとりは唯一無二の存在、個々人は家族や地域の人たちとのご縁の中で、生かされあって存在しています」と教えて頂いています。弟は母の様子を逐一伝えてくれます。そこにどれだけ感謝していただろう。こうして内省して考えることができるご法を伝えてくださった、母(両親)のおかげさまと改めて感謝です。今までこうあるべきと四角四面な心をもっと円くして私らしく精進したいと感じました。ありがとうございます。

３年ぶりの祇園祭山鉾巡行　～青年部員が歴史を支える～

コロナ禍で中止だった祇園祭山鉾巡行が３年ぶりに行われ、京都教会青年部と新宗連青年部が曳き手ボランティアに参加しました。

７月 17 日の先祭では郭巨山と船鉾、24 日の後祭では八幡山と鷹山を担当しました。特に鷹山は文政 ９（1826）年の巡行で大雨にあって懸装品を汚損したことを理由に休み山となっていましたが、196 年ぶりに復活したこともあり、町内での準備段階から巡行中、そして巡行後に至るまで多くのマスコミが注目していました。

両日とも晴天に恵まれ、青年部員のべ 51 名が都大路を練り歩きました。

郭巨山

船鉾

八幡山

鷹山

あなたのお仕事を教えて下さい　～右京支部　中野進一郎さん～

Ｑ：仕事先はどちらですか。
Ａ：ホウセイ紙工
Ｑ：どのような仕事内容ですか。
Ａ：紙の型打ち抜き加工（トムソン加工）をかれこれ３０年以上就かせて頂いております。
お得意先様からご注文頂いた寸法に紙を切り落としたり、折り線を入れたり、色々な型に仕上げます。例えば、辞典のケースやハッ橋（土産物）の箱、神社にある御幣や施餓鬼や散華の加工等々で、和紙から段ボールまで、幅広く紙を扱っております。

Ｑ：仕事で得た技術や心掛けていること等があれば教えて下さい。
Ａ：身に付けた技術は、トムソン加工で必要な打ち抜き機械を扱えるようになったことです。
親方と二人で仕事をしているのですが、更にもっと、親方やお得意様に信用してもらい、「任せても大丈夫！」と安心して頂けるように、そして、仕上がり納品の際には、丁寧にお得意先様に商品を納品する事を心がけております。
ありがとうございました。

令和４年、私たちは「どこでも道場　祈り祈られ　笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。https://rkk-kyoto.jp/